

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 : レジプライマー J 専用添加剤

製品種類 : 塗料

使用上の制限 : 業務用

会社名 : シーカ・ジャパン株式会社

住所 : 東京都港区元赤坂 1 丁目 2 番 7 号 赤坂 K タワー 7F

電話 : 03-6434-7291

緊急連絡先電話 : Sikaテクニカルセンター 047-436-0811

SDS No. : 100220024-3

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分に該当しない

急性毒性(経皮): 区分に該当しない

急性毒性(吸入): 区分 4

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2A

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 区分に該当しない

生殖細胞変異原性: 区分に該当しない

発がん性: 区分に該当しない

生殖毒性: 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(中枢神経系)、区分 2(腎臓)、区分 3(麻酔作用、気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(中枢神経系、腎臓、神経系)、区分 2(肝臓)

誤えん有害性: 区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

オゾン層への有害性: 分類できない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害(中枢神経系)

臓器の障害のおそれ(腎臓)

呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(中枢神経系、腎臓、神経系)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
容器を接地する/アースをとる。
静電気放電に対する予防措置を講ずる。火災を発生しない工具を使用する。
取扱い後は手洗いうがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

施錠して保管する。
直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物
化学名 :データなし

成分名	含有量(%)	CAS No.
トルエン	78	108-88-3
メチルエチルケトン	16	78-93-3
有機スズ化合物	5.0	77-58-7
着色剤	<1	データなし

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合、及び気分が悪い時は、直ちに医師に連絡し、手当て・診断を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された作業衣は再使用する前に洗濯すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激があれば医師の診断・手当てを受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪い時は、医師の手当て・診断を受けること。

被災者に意識がない場合は口から何も与えてはならない。

最も重要な徴候及び症状

吸入; 咽頭痛、咳、めまい、頭痛、嗜眠、吐き気

皮膚; 発赤、皮膚の乾燥

眼; 充血、痛み

経口摂取; 灼熱感、腹痛、咳、咽頭痛、めまい、嗜眠、頭痛、吐き気、意識喪失

応急措置をする者の保護

適切な保護具(保護メガネ、保護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末ドライケミカル、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂、大量の噴霧水

不適切な消火剤

棒状水

特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

極めて燃え易い、熱、火花、火災で容易に発火する。

引火性の高い液体及び蒸気。

特有の消火方法

粉末ドライケミカル又は炭酸ガスで初期消火にあたる。

火災が広がった時は大量の噴霧水で消火する。

消火活動は可能な限り風上から行う。

着火していないドラム設備などに放水し、延焼・加熱防止や破裂の防止に努める。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

漏出物を密閉できる空容器に回収する。

衝撃、静電気により火花が発生しない装置、材質の用具を用いる。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

少量の場合には乾燥砂、土、おがくず、ウェスなどに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

大量の場合は盛土で囲って流出を防止する。

漏出物を密閉できる空容器に回収する。

衝撃、静電気により火花が発生しない装置、材質の用具を用いて回収する。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
- 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- 皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないよう、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- 取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

(火災・爆発の防止)

- 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。一禁煙。
- 火花を発生させない工具を使用する。静電気放電に対する予防措置を講ずる。
- 容器には、空になった後も蒸気が残っている。空又は空に近い容器を切断、穴あけ、溶接などの処置をしてはならない。

局所排気、全体換気

- 屋外または換気のよい場所でのみ取り扱う。

注意事項

- 接触、吸入、又は飲み込まない。
- 取扱い後はよく手を洗う。
- 屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。

安全取扱注意事項

- 緊急時に備えて、十分な数の保護具を常備する。
- 容器の取扱いは転倒・落下に注意する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

- 施錠して保管する。
- 直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。
- 保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。
- 混触危険物質から離して保管する。

避けるべき保管条件

- 直射日光が当たる場所。屋根がない場所。高温になる場所、およびその隣接した場所。
- 開封状態での保管。

配合禁忌

- 消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。
- セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

- 消防法及び国際輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

- (トルエン) 50ppm
- (メチルエチルケトン) 200ppm

許容濃度

- (トルエン) 日本産業衛生学会(2020年版) 50ppm; 188mg/m³ 皮膚吸収性
- (トルエン) ACGIH(2020年版) 20ppm(TLV-TWA) 皮膚吸収性
- (メチルエチルケトン) 日本産業衛生学会(2005年版) 200ppm; 590mg/m³
- (メチルエチルケトン) ACGIH(2005年版) 200ppm(TLV-TWA) BEI, 300ppm(STEL) BEI
- (有機スズ化合物(Snとして)) ACGIH(2009年版) TLV-TWA 0.1mg/m³, TLV-STEL 0.2mg/m³, TLV-C 0.2mg/m³

設備対策

- 労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー・手洗い・洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いがいをする。

この製品を使用するときには、飲食又は喫煙をしてはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 青色

臭い : 特徴的な臭気、芳香臭

融点/凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 80°C

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : -9°C(セタ密閉式)

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 該当しない

粘度 : データなし

動粘性率 : <10mm²/s

溶解度

水に対する溶解度 : データなし

トルエン、アセトン、酢酸エチル等の有機溶剤に可溶

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : 0.87g/cm³ (25°C)

相対ガス密度(空気=1) : データなし

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の条件下では安定である。

水と徐々に反応してジブチルスズオキシド等に分解する。

危険有害反応可能性

酸化剤と反応して分解する。

避けるべき条件

高温の物体、火花、裸火、静電気火花、酸化剤との接触は避ける。

混触危険物質

酸、アルカリ、酸化剤

危険有害な分解生成物

燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などを発生する。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

- LD50 >2,000mg/kg(計算値) 区分に該当しない
- (トルエン) ラット LD50 5,000-7,300mg/kg 区分に該当しない
- (メチルエチルケトン) ラット LD50 2,737mg/kg 区分に該当しない
- (有機スズ化合物) ラット LD50 2,071mg/kg 区分に該当しない

経皮毒性成分データ

- LD50 >2,000mg/kg(計算値) 区分に該当しない
- (トルエン) ラット LD50 12,000mg/kg 区分に該当しない
- (メチルエチルケトン) ウサギ LD50 >5,000mg/kg 区分に該当しない

吸入(蒸気)毒性成分データ

- LD50 3,773ppm(計算値) 区分4
- (トルエン) ラット LC50 3,319-8,800ppm/4hr 区分4
- (メチルエチルケトン) ラット LC50(vapor) 11,700ppm/4hr 区分4

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

皮膚腐食性・刺激性成分データ

- (トルエン) 区分2 ラビット中等度の刺激性(EU-RAR, 2003)
- (メチルエチルケトン) 区分2 ラビット中等度の刺激性(SIDS, 2011et al)
- (有機スズ化合物) 区分2 ウサギ(皮膚)中度刺激

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

- (トルエン) 区分2B ラビット中等度の刺激性(EU-RAR, 2003)
- (メチルエチルケトン) 区分2A ラビット重度の刺激(SIDS, 2011et al)
- (有機スズ化合物) 区分2A ウサギ強度刺激

感作性 :データなし

生殖細胞変異原性

- (有機スズ化合物) in vitro 陰性、in vivo データ無し

催奇形性 :データなし

発がん性 :データなし

生殖毒性

生殖毒性成分データ

- (トルエン) 区分1A
- (トルエン) 追加区分;授乳に対する又は授乳を介した影響
- (有機スズ化合物) 区分1B

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 単回ばく露成分データ

- (トルエン) 区分1(中枢神経系)、区分3(麻酔作用、気道刺激性)
- (メチルエチルケトン) 区分2(腎臓)、区分3(麻酔作用、気道刺激性)

特定標的臓器毒性 反復ばく露成分データ

- (トルエン) 区分1(中枢神経系、腎臓、神経系)
- (メチルエチルケトン) 区分1(神経系)
- (有機スズ化合物) 区分1(肝臓)

誤えん有害性

- (トルエン) 区分1
- (メチルエチルケトン) データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生環境有害性(急性) 区分2

水生環境有害性(長期間) 区分3

水生毒性 成分データ

(トルエン) 甲殻類(Ceriodaphnia dubia)の48時間EC50 =3.78mg/L (NITE初期リスク評価書, 2006)

(トルエン) 甲殻類(Ceriodaphnia dubia)の7日間NOEC = 0.74 mg/L (NITE初期リスク評価書, 2006)

(メチルエチルケトン) 魚類(ニジマス)LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1996)

(メチルエチルケトン) 藻類(Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=93 mg/L/72hr(環境庁生態影響試験, 1996)

(有機スズ化合物) 魚類(メダカ)LC50>約3 mg/L(飽和濃度)/96hr

(有機スズ化合物) 甲殻類(オオミジンコ)EC501.9~3.8mg/L/48hr

(有機スズ化合物) 藻類EC50約3mg/L(飽和濃度)/72hr

水溶解度

(メチルエチルケトン) 29 g/100 ml (20 C) (ICSC, 1998)

残留性・分解性

(トルエン) 良分解性(2週間でのBODによる分解度:123%)

(メチルエチルケトン) 急速分解性があり(20日後のBOD分解度=89% (SIDS, 2011))

(有機スズ化合物) 生分解性23%(39日間)

生体蓄積性

(トルエン) 生物蓄積性が低い(log Kow= 2.73)

(メチルエチルケトン) log Pow=0.29 (ICSC, 1998)

土壤中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄においては、関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

容器の処理は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :1263

クラス :3

正式品名 :塗料又は塗料関連物質

指針番号 :130

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気厳禁。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日以前）

トルエン; メチルエチルケトン

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物（平成26年6月1日施行分より）

トルエン; メチルエチルケトン; 有機スズ化合物

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

トルエン; メチルエチルケトン; 有機スズ化合物

別表第1 危険物（第1条、第6条、第15条関係）

危険物・引火性の物

特定化学物質障害予防規則 第2類物質（特別有機溶剤等）

該当しない

有機溶剤中毒予防規則 第2種有機溶剤

トルエン; メチルエチルケトン

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

トルエン; 有機スズ化合物

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II

船舶安全法

引火性液体類／トルエン、メチルエチルケトン（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）

航空法

引火性液体／トルエン、メチルエチルケトン（危規則第194条危険物告示別表第1）

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム（独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE）

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上